



今尾の子



令和4年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和4年11月1日

これまでの学習・生活を振り返る時

あと二ヶ月で二学期が終わります。今までの自分や仲間の頑張りと成果を振り返りながら、新たな目標をたてたり、学び直しをしたりする時期です。二学期が終わる前に、折り返しの時期だからこそ、やり直すことができたり、自分をほめたりすることができません。振り返りや学び直しをするために、子供自身が宝物にしたり、仲間や先生、家族の方が残してくれたりしたものを見直してみましよう。

各教科のノート、予定帳、「よいことみつけ」のカード、ドリル用のノート、「そったくチャレンジ」の記録、習字・図工などの作品、いろいろなペーパーテストなど振り返る材料はたくさんあります。それらを家族で見ながら、その取り組んだ時の様子を思い起こしてみることしてみましよう。自分が今まで歩んできた足跡を見直すこと、その振り返り方を大切にしましよう。

素晴らしい出来栄えや評価、結果の場合もあれば、「これは…?」と感じる場合もあると思います。どちらの場合も、なぜそうだったのかを考えることが大切です。うまくできた場合の取組方や心の状態などが分かる、具体的に同じようにすれば、教科や内容、場面が違って同じような取組方や結果になる可能性は大きくなります。逆に、よい結果ではなかった場合には、

同じことをしていたら、また同じよくなる結果になります。違う方法や状況にしなければいけないことは明らかです。

そこで、具体的な目標を考え、素直に聞き、話し合い、見つけ出してすぐに実践すること、「まずやってみる」ことです。達成できない目標があるのなら、できている仲間に、どのようにしているかを聞いてみて、まねしてみることもよいでしょう。

こんな場面に出会いました。ある子が作文を書いているときに、書きたい漢字があるのに書けない時です。隣の席の子に「教えて」「書いてみて」と言っている子がいました。すると、優しく書いてあげるのと同じ時に、「教科書の最後の方を見れば」とアドバイスもしました。すぐに教科書を開いてその漢字を探し、漢字を書いていました。

まず、漢字が書けない子は、漢字で書くこととしたことやきいたことは、学ぶ意欲や活用しようとしていることが素晴らしい、他の場面でも生きる学びがあります。アドバイスしていた子は、学習の仕方が分かっている、よりアドバイスしたことにより、より確かな力になったと思います。このようなこともまさに「主体的に学習に取り組む態度」です。

このような小さな繰り返しをすることが、よりよい学習や生活を創り出す力を身に付けることとなります。この場合、目標を

あらかじめ考えていたわけではないのですが、「〇〇した場合は、□□する」ということがそれぞれの立場で分かっているから、よい習慣になっているのです。

また、このような取組の過程で、学校や家庭、地域での価値付け、認め、励まし、論すことが繰り返されているからできているのです。

今後も、学校・家庭・地域で見届け、意味付け、価値付け、方向付けをしていきたいと思います。

感染予防・拡大対策の徹底を

今まで家族ぐるみでの感染予防等にご協力いただき、ありがとうございます。五年生も無事に藤橋研修を終えることができました。コロナ感染がまだまだ終息しない状況で、他の感染症も心配される中ですが、これまで行ってきた**基本的な感染予防対策**(正しいマスクの着用・正しい手洗い・3密の回避等)を今後もより一層の徹底を家族ぐるみでお願いします。

また、**感染拡大させない**ために、本人はもちろんですが、同居のご家族で体調等が普段と少しでも異なる場合には、登校や出勤・外出を自粛し、自宅で休養や受診してください。これも、外からウイルスを学校内に持ち込まないようするための大切な一つの対策です。何卒今の状況をご理解いただき、今後もご協力をお願いします。